

報道関係者各位

東北復興水産加工品展示商談会2026

～繋がる・繋げる展示商談会～

ここでしか出会えない 三陸・常磐うみのうまいもの

復興水産加工業販路回復促進センター（代表機関 全国水産加工業協同組合連合会 代表理事長 高木安四郎）では、東日本大震災から15年が経過し、生産体制は整ったものの、売上回復が遅れている三陸・常磐地域において、水産業界全体の復興、ならびに販路開拓・情報発信の拡大を図るべく、「東北復興水産加工品展示商談会2026」を開催いたします。

「繋がる・繋げる展示商談会」をテーマに掲げ、水産物に関心をもつ全国各地の食品バイヤーへ向けて、三陸・常磐の水産物の魅力をひろく発信して参ります。

開催概要等は次ページをご参照ください。詳細は決まり次第ご案内いたします。



「東北復興水産加工品展示商談会2026」公式ホームページ

<https://www.tohokusuisan.jp/>

1 開催概要

催事名：東北復興水産加工品展示商談会2026～繋がる・繋げる展示商談会～

主催者：復興水産加工業販路回復促進センター

開催期間：2026年9月15日（火）10:00～16:00、9月16日（水）09:00～14:00

開催場所：仙台国際センター展示棟（宮城県仙台市青葉区青葉山無番地）

出展対象：青森、岩手、宮城、福島、茨城、栃木、群馬、及び千葉の水産加工会社130社程度

来場対象：日本全国の食品バイヤー、業界関係者等5,000名程度

個別商談：67組500商談程度

同時開催：セミナー・パネルディスカッション、アドバイザー相談コーナー、等

2 展示商談会の特徴

三陸・常磐の水産加工品等に特化した展示商談会



東日本大震災被災地域の復興支援・販路開拓を目的に、“三陸・常磐の水産加工品”を扱う水産加工事業者等を出展主対象とした展示商談会です。来場バイヤーは“三陸・常磐の水産加工品”を目的に参加・来場をいただくことから、ミスマッチングが極めて少なく、効率的な商談が可能です。

新たな販路開拓の可能性を秘めた商談機会



来場者バイヤーの内、半数以上が新規来場（前回実績）であることから、新規出展・継続出展に関わらず、新たな出会いが期待されます。来場バイヤーの多くは、市場や一般的な展示商談会で見たことのない商品を発掘することが目的であり、まだ特定の市場や展示会に出品されたことのない方にとって大きな可能性を秘めています。

相性判断による個別商談会



個別商談会（事前予約制）では、出展者・バイヤー双方からあらかじめ詳細なニーズを伺ったうえで、独自の商談システムで相性のよいマッチングを設定し、最終的には専任コーディネーターの助言も踏まえた、丁寧な商談設定としております。事前～当日～事後における商談まで運営事務局がサポートいたします。

テーマ毎に有識者を招きセミナーを実施



商品開発・商品提案のポイント、効果的な商談方法、商品展示の上手な見せ方、水産業界の傾向・トレンド等、水産事業者の皆様役に役立つ内容について、現役バイヤー等の有識者をお招きしたセミナーを、事前～当日～事後と複数回開催いたしますので、これからの販路開拓に活かすことが可能です。

各分野のアドバイザーが出展をサポート



復興水産加工業販路回復促進センターには、商品開発や販路開拓等の専門家（約50名）が在籍しており、開催期間中の商談や、開催前・開催後の個別相談等に至るまで、皆様の販路開拓をサポート（無償）いたしますので、商談や展示会に不慣れな方でも安心してご参加いただけます。

3 前回（2025年）開催実績

出展者 / 出品数

130社 / 約800商品

来場者数

3,750名

個別商談招聘数 / 商談数

63組 / 530商談

ブース商談数

約4,000件

取材のお問い合わせは—

全国水産加工業協同組合連合会（復興水産加工業販路回復促進センター 代表機関）

担当：菊地、大藤、松井 電話：03-3662-2040 メール：ebm-info@zensui.jp